

本気野菜をおいしく育てよう!!

トマトの育て方のポイント

① 植え付け

- 最低温度が15度以上になってから。
- 元肥は控えめに。緩やかに効く有機質主体で。
- 花芽が少し見え始めた頃が植えどき。

② わき芽かき

- 主枝だけを伸ばす1本仕立てに。
- 定植後第一花房が咲き始めたら開始。
- 夏場はすぐに伸びるので、見逃し注意。

③ 摘果

- 大玉品種は1花房あたり4~5果残して花房先端を切除。
- ミニトマトは摘果不要です。



④ 追肥

- 1・3・5段目(奇数段)の果実が膨らみ始めたら与えます。
- 株元30cmほど離れたところに配合肥料一握り(50g程度)。
- 茎が異常に太く、葉が濃く茂り過ぎの場合は控えめに。



⑤ 摘芯・摘葉

- 栽培後半、支柱の高さに達したら摘芯を。
- 摘芯は最上部の花房の上「2枚の葉」を残して切る。
- 栽培後半、株元に近い黄化した葉を順次摘み取ります。



⑥ 収穫

- できるだけ果実全体が赤くなつてから収穫しましょう。
- 果房の熟した果実から収穫します。



キュウリの育て方のポイント



① 植え付け

- 最低温度が15度以上になってから。
- 風が強く、冷え込みの可能性があるときは苗キャップや仮支柱を。
- 植え込み直後の風による茎折れが多いのでご注意。

② 整枝・わき芽かき

- 4~5節までに出てくるわき芽は全て摘み取ります。
- その後に出てくるわき芽(側枝)は4~5節ほど伸ばして摘芯。
- 生育中盤以降は、込み合った葉、黄化葉を適宜切除。

③ 追肥

- 生育中は肥料を好みます。2週間に1回配合肥料を50g／株周りに。
- プランター栽培の場合、毎日の水遣りを液肥に代えてもよいでしょう。

④ 水やり

- 乾燥に弱い作物です。水切れは厳禁です。
- プランターの場合、炎天下での灌水は避け、朝夕の涼しいうちに。

⑤ 収穫

- 株の生育を優先させる為、最初の収穫は小さいうちに行います。
- 品種により美味しいサイズが異なります。ラベルで確認しましょう。
- 大きくなりすぎた成熟果でも、種を取って漬物にすると美味しいです。
- 夏場は開花してから1週間ほどで収穫可能になり、朝と夕方で大きさが変わるほどの早さで生長します。



ナスの育て方のポイント



① 植え付け

- 最低温度が15度以上になってから。
- 風が強く、冷え込みの可能性があるときは苗キャップや仮支柱を。
- 肥料を好みます。元肥はしっかりと堆肥とともに与えておきましょう。
- 根が深く伸びます。畑の場合は深耕します。
- プランターの場合は深く大きなもの(20L以上)を用意します。

② 追肥

- 1番花が咲いた頃から2週間に1回配合肥料を50g／株周りに。
- プランター栽培の場合、毎日の水遣りを液肥に代えてもよいでしょう。

③ 整枝・わき芽かき

- 1番花寄りも下のわき芽は全て取り除きます。

- 1番花のすぐ下から伸びるわき芽を伸ばし、主枝とあわせて3~4本太い枝を伸ばします。
- 7月頃、分枝が増え株が乱れたら草丈の1/2を目安に株全体を剪定。

④ 水やり

- 乾燥に弱い作物です。水切れは厳禁です。プランターは特に注意。
- プランターの場合、炎天下での灌水は避け、朝夕の涼しいうちに。

⑤ 収穫

- 株の生育を優先させる為、最初の収穫は小さいうちに行います。
- 品種により美味しいサイズが異なります。ラベルで確認しましょう。

